

序 文

手術書「ビジュアルサージカル」シリーズの『消化器外科手術 肝臓・脾臓』が完成した。

肝臓手術は、基本的な肝部分切除から高難度手術とされる解剖学的な区域、領域、半肝切除まで多彩である。しかし、考え方や手術手技には共通した点が多く見られる。今回の手術書は、基本的な部分を特に重要視した内容で、これから消化器外科専門医さらには肝胆膵外科高度技能専門医を目指す人の入門的内容で構成されている。

内容は項目ごとに分かれているが、肝切除術には共通部分が多く含まれる。一つの術式を理解するために、敢えて重複部分も削除することなく掲載した。各項目は基本的、総合的な内容から専門的分野へ展開しており、大変わかりやすい構成となっている。また、腹腔鏡下脾臓摘出術や、腹腔鏡下肝部分切除術、肝左外側区域切除術も掲載した。腹腔鏡下脾臓摘出術・肝部分切除術は消化器外科医・肝胆膵外科医にとって基本的手術手技と考えられる。専門医を目指す先生方には是非修得していただきたい術式である。

また、各項目には手術動画を供覧できる工夫がある。手術の要点を短い動画で確認することができる。教科書を読むだけでなく、動画による視覚的要素で理解を深めることができる。内容は簡潔で手術のイラストも多く、重要ポイントを動画により繰り返し参照することで手術の理解を深めることができると確信している。

現在多くの手術書が出版されているが、今回の企画はこれまでにない「ビジュアルサージカル」シリーズである。肝胆膵外科専門医を目指す医師だけでなく、多くの消化器外科医の手元で本書が供覧され、役に立つことを祈念している。

2019年2月

東京女子医科大学医学部消化器外科学（消化器・一般外科）教授

山本 雅一